

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 イザヤ 12:3-4 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 36番 天つ御使よ
- *交読文 …… 39番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 170番 主のみ慈しみ
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:史執事 天声:小林 伝道師
- 聖餐式 …… 281番 しももとがも
- メッセージ …… ほとぼしる命の泉の呼び水とは(ヨハネ 4:7-15)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …… 169番 流れる川のごと
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

_____はイエスに言った、「主よ、_____がかわくことがなく、また、ここにくみにこなくともよいように、その水を_____に下さい」(ヨハネ 4:15)

その日_____は言う、「主よ、_____はあなたに感謝します。あなたは、さきに_____にむかって怒られたが、その怒りはやんで、_____を慰められたからです。見よ、神は_____の救である。_____は信頼して恐れることはない。主なる神は_____の力、_____の歌であり、_____の救となられたからである」。

_____は喜びをもって、救の井戸から水をくむ。その日、_____は言う、「主に感謝せよ。そのみ名を呼べ。そのみわざをもらもろの民の中につたえよ。そのみ名のあがむべきことを語りつげよ。主をほめうたえ。主はそのみわざを、みごとになし遂げられたから。これを全地に宣べ伝えよ。シオンに住む者よ、声をあげて、喜びうたえ。イスラエルの聖者は_____のうちで／大いなる者だから」。(イザヤ 12 章)

前回、聖霊のご性質の、流れる川のように人を潤し清める性質を学んだ。今回も続いてそれを学びたい。『イエスは女に答えて言われた、「この水を飲む者はだれでも、またかわくであろう。しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、渇く事がないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、湧き上がるであろう』(ヨハネ 4:13) 私達がこれを頂くためには、どうしたらよいだろう。

暫く使っていない井戸を、再び水を出すようにするためには「呼び水」が必要であるが、イエス様からこんこんと湧き出るいのちの水を私達も頂くために「呼び水」が必要である。イエス様ははじめに「水を飲ませて下さい」(7節)と女に言われた。イエス様は、罪深いこんな私達にも言われる。「あなたの水を飲ませて下さい」と。では、私達がイエス様に「呼び水」となるべき水を、飲ませて差し上げるためには、どうしたら良いか。

この記事中、女がイエス様に飲ませた記述は、見あたらない。しかし後の記述を見ると、どうやら彼女、イエス様から「生ける水」を頂いて、腹の奥底から水が川となって流れ出たようすである。一体彼女、いつイエス様に「呼び水」を飲ませたのだろう。彼女がイエス様に飲ませた「呼び水」とは、おそらく、次の言葉だ。「主よ、わたしがかわくことがなく、また、ここにくみにこなくともよいように、その水をわたしに下さい」(15節) イエス様への、「その水をわたしに下さい」という、お願い。これこそ、無限に流れ出て来るいのちの水を、イエス様から引き出す「呼び水」である。この言葉をイエス様へ発した瞬間、イエス様は「呼び水」を得て、その人の「渇きの問題」を解決をする支配権がイエス様へ移り、イエス様はその人を潤す働きを開始する。

彼女は、渇きを覚えていた。喉の渇きより、もっと深刻で根本的な「心の渇き」「人生の渇き」を。彼女はその渇きを、結婚や安定、異性という「水」によって癒やそうとしたが、それは、飲めば飲む程渇く水だった。

人は色々な「水」で渇きを癒やそうとする。異性、結婚、金銀、仕事など。それらの「お祭り騒ぎ」(ヨハネ 7:37) は、やがて誰もが渇く時が来る事を、前回学んだ。そうした世のものに潤いを求め続けるなら、渇きは癒やされないどころか、もっともっと渇いて行き、そしてそれを手に入れるために奔走した過程で、失敗や恥、破産、人への迷惑、身体の傷などなどの”負の実績”をも積み上げて行く。

それら全ての負の実績を、サマリヤの女のようにイエス様に持って行くなら、神の栄光を現すものへと大転換する。つまり彼女のように、イエス様に向かって、「あなたがくださる水、飲んだら腹の奥底から流れ出るという、その生ける水を、わたしにもください！」と言う事こそ、あらゆる問題解決の呼び水なのだ。

イエス様がこれを「飲む」時、問題が私達の側からイエス様の側へと移り、イエス様が動いてくださる。彼女がイエス様に、あなたの水を飲ませて下さい、と言った時、イエス様は働く機会を得、結果的に、彼女は決して今まで満たされなかった霊の空洞が、満たされた。そして、彼女自身の渇きが癒やされただけでなく、その水は川々となって、彼女の住んでいたサマリヤ・スカル地方全体へと流れて行き、その一帯の人々を、根こそぎイエス様へと導いて、この地方一帯が、いのちの水で溢れた。

『祭の終りの大事な日に、イエスは立って、叫んで言われた、「だれでもかわく者は、わたしのところにきて飲むがよい。』(ヨハネ 7:37) この、イエス様が下さる水、すなわち「聖霊」が私達に宿る時、流れる川のごとく私達を潤し、私達がいかに、世との摩擦ですり切れ、汚れしまわっていても、その聖霊の川の流りに身を置いているなら、どんどん癒やされ、きれいになって行く。その御霊が働くためには、御言葉が必要である。

御言葉という全く純粋なきよめの水に浸され続け、聖霊のきよい流れにひたされ続けるなら、どんどん清らくなって行く。御言葉を習慣的に口ずさみ、自分の中に取り入れる「テフィリン」が、まさにそれである。いつも御言葉に浸され、馴染んでいる内に御言葉と一体化し、きよめられ、そして天地を創造した神の言葉による再創造が、その人の中に構築されて行き、その人の中に、神のかたちが出来上がっていくのだ。御言葉なるイエス様こそ「在りて在るお方」であり(ヨハネ 8:24,58)、全ての存在の源である。(コロサイ 1:17)

その御言葉を、テフィリンによって自分の中に豊かに住まわせるほどに、自分の存在根拠、生きる根拠、そしてこのお方を伝える伝道の根拠が、くつきり土台づくりされて行く。それでその人は、心も、人格も、ことばも、人生全ての面において、安定して行く。その取っ掛かりは、全存在の根拠であられるイエス様の所に行って、あなたが下さるという水を、わたしにも下さい！と、お願いする事だ。イエス様は、今生きておられる。このお方に呼び求め、全ての面で潤い、安定した人生を送っていく皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30～
2部礼拝 14:00

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜礼拝

金曜徹夜祈祷会 21:00～
1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube